



「声」の欄・投稿規定

- ★「声」の欄は読者の皆さんのお考えを、直接誌面に反映させるためのページです。皮膚病の診療に関する日ごろのご意見、新しいアイデア、ご提言などをお気軽にお寄せください。とくに日夜第一線で診療に活躍しておられる先生方からのご投稿を切望します。
- ★字数は一般のご投稿は1,200字以内、質問は600字以内を原則とします。
- ★ご投稿は郵送のほか、FAX(番号:03-3984-1003)とE-mail(アドレス:hs1979@intage.com)にても受け付けております。
- ★原稿には住所・氏名を明記していただきます。

ワクチン接種と帯状疱疹：増加の要因？

「コロナワクチン接種後に(1回目, 2回目問わず)発症した帯状疱疹(herpes zoster: HZ)患者をよくみる」とネットで話題になっています。当院でも十数例を経験しておりますが、海外では文献も出ています(Furer V, et al: Rheumatology 60: S190, 2021)。

ただ以前にまとめた統計でも、小児への水痘ワクチンの定期接種開始(2014年10月)前と比べ、開始後では15歳以下の子どもと60歳以上ではHZの患者数が有意に増加していました(石川博康: 皮膚病診療 41: 988, 2019)。もともと日本では夏場によくみられますし、HZの増加にワクチンの関連があるかどうかは判断がなかなかむずかしいような気もしますが、どのように考えればよいのでしょうか？

石川 博康
(八戸市・湊高台皮膚科)

【コメント】

新型コロナウイルス(SARSCoV-2)に対するmRNAワクチンは、感染、発症予防、また重症化阻止に極めて有効ですが、一方でその免疫原性の高さからさまざまな局所および全身性の副反応をひきおこします。新型コロナワクチン接種後のHZ発症については筆者も多数の先生方から「増加するのか?」「重症化するのか?」「コロナワクチン接種スケジュールへの影響は?」などの質問を多数いただいております。当初は高齢者に優先して接種していたことから、HZ発症率の高い層での偶発的合併かと思っています。

たが、最近自分でも10歳代の接種者でのHZ発症を経験しましたし、世界中から多数の症例報告が出ております。ご指摘の論文は、イスラエルの2つのリウマチ科で実施されたリウマチ、膠原病患者(n=91)および対照者(n=99)を対象とし、BNT162b2 mRNAワクチン接種の安全性を評価したもので、接種群でのHZ発症率は1.2%(n=6)であり、対照群にはみられませんでした。6名中5例では初回ワクチン接種後で、大部分の症例でHZ感染は軽度であり、汎発性HZや帯状疱疹後神経痛の症例はなく、5名とも2回目の接種が可能でした。また、イスラエルのワクチン接種者と非接種者(各84,828名)をマッチさせ、ワクチン接種後42日目のリスク比とリスク差をみた研究では、HZ発症のリスク比は1.43(95%CI, 1.20~1.73)リスク差は15.8件/10万人(95%CI, 8.2~24.2)でした¹⁾。このことから、新型コロナワクチン接種はHZ発症リスクをわずかに上昇させるが重症化には寄与しない可能性が高いと考えられます。リスク増加の理由として、ワクチン接種による肉体的ストレスや、免疫再構築症候群様のメカニズムが考えられていますが、正確な機序は不明です。1回目のワクチン接種後にHZを発症した場合、治癒すれば2回目のワクチン接種は可能と思われますが、念のため治癒後1週間は間隔をあけたほうがよいと個人的に思っています。蛇足ですが、高齢者を中心にワクチンに対する知識や熱意が高まっているいま、「コロナワクチンのあとはHZワクチン接種を!」と薦めるのもいいかと思っています。

渡辺 大輔
(愛知医科大学皮膚科学教授)

〈文献〉

- 1) Barda N, et al: N Engl J Med 385: 1078, 2021